



2009年6月号外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本
生活が第一



28歳

市議会レポート 一小平市議会議員一
Vo 1. 3

地域のつながりを大切に
し、互いに声をかけあえる
社会をつくっていきたい。

石毛航太郎

いしげ こうたろう

小平市長選挙及び市議会議員補欠選挙報告

小平市長選挙には、現職 小林正則市長が二期目の当選を果たしました！

2009年4月5日に行われました、小平市長選挙では、小林正則現職市長が当選致しました。得票数は小林正則さん **38,776** 票、坂井やすのりさん **16,584** 票。投票率は **39,31%** でした。多くのご支援をいただき二期目の再選を果たした小林市長には、是非「前へ前へ」の勢いで小平の諸課題に果敢に取り組み、市民の声を積極的に活かす市政運営を行うことを期待します。



当選後小林正則市長と握手

また、小平市議会議員補欠選挙には、平野ひろみさんが当選されました。得票数は、平野ひろみさん（無所属）**23,719** 票、磯山りょうさん（自由民主党）**17,927** 票、すえひろ進さん（日本共産党）**8,779** 票、ふるかわとおるさん（無所属）**3,663** 票。投票率は **39,29%** でした。

私、石毛航太郎は

斉藤あつしさん（民主党現職都議会議員）を
応援しています！



7月12日（日）に都議会議員選挙が行われます。「東京発政権交代」をスローガンに、2期目の当選を目指しています。看護師として、社会福祉師、そして消防士として働いて来た実績を活かし、頑張ってください！

～議会人事の変更～

市議会定例会が6月9日から開会されました。今回改選から二年がたち、議会の人事も大きく変わります。

議長に政和会永田政弘氏、副議長に市議会公明党加藤俊彦氏、そして監査には、フォーラム小平の藤原哲重氏それぞれが就任しました。常任委員会の正副委員長も変更しました。

今回私は厚生委員会の委員に就任いたしました。

市議会活動報告

《2009年2月 定例会一般質問より》

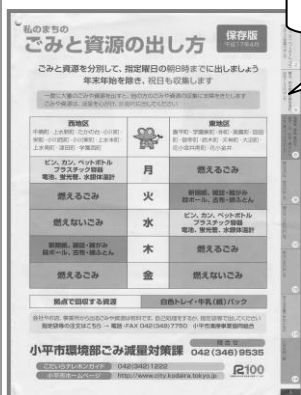
ゴミ出しのマナーアップを目指して

石毛航太郎 質問要旨

ゴミ出しのマナーアップを目指し、※1「ゴミと資源の出し方」を毎年全戸配布できないか。

また、清掃車で引火・爆発事故防止のため※2ライター回収を資源日(乾電池と一緒に)に分別して出せないか。

※1 ゴミと資源の出し方



アンケートの結果、この冊子を知らない、配布された記憶がないという方が全体の9%いました。皆さんはご存じですか？

※2 現在、ライターは燃えないゴミとして、スプレー缶や、ガスカートリッジ缶と同じ日の収集のため、車両火災の危険性が？！

環境部長 答弁

「ゴミと資源の出し方」の冊子は、平成17年に全戸配布をしてから、転入者には必ずお配りしています。毎年全戸配布するということにつきましては、写真やイラスト入りの冊子となっていて費用的にもかかりますので、今後検討させていただきます。

ライターにつきましては、必ず中身を抜き取っていただくようお願いをしていますが、乾電池と一緒に分別して出すというのも一つの案ですので、今後検討させていただきたいと思います。

過去には、夜にごみを出して放火され火災事故が起こったり、割れたガラスによって作業員の方が怪我をすることもありました。

市民の安全はもちろん、現場の作業員の方々の安全も考え、正しいゴミの分別にご協力下さい。

今後も正しいゴミの分別の啓発活動に取り組んでいきたいと思っています。

市民にも、作業員の方々へもやさしいまちを目指して…



なお、6月定例会、一般質問につきましても、次号にてお伝えいたします。



石毛航太郎 友の会

住所 〒187-0002
東京都小平市花小金井 5-29-3
ベルメゾン大塚 104
TEL/ 042-452-9091 FAX/ 042-452-9092
E-mail rita800@w8.dion.ne.jp

転居いたしました。

- 昭和56年西東京市生まれ。
- 東亜学園高等学校卒業。
- 明治学院大学国際学部卒業。
- インド、マザーテレサの福祉施設にて奉仕活動を行う。
- 米国留学、キリスト教の平和活動に参加。
- 曹洞宗の僧侶となり、福井県の大本山永平寺にて修行。
- 現在、小平市議会議員一期目。総務委員会委員。
- 趣味 和太鼓、旅行、登山、坐禅。

編集後記

先日私の親しい人がうつ病と診断された。心の風邪と言われるうつ病だが、いまや現代病の一つだ。うつ病が労災として認められるケースが増えて来た事は、労働者にとってセーフティーネットの整備としては一つの前進だが、根本的な解決にはなっていない。長時間過密労働を改め、うつ病そのものがなくなる社会にしたいものだ。

石毛航太郎

ご協力をお願い致します

- お知り合いを紹介していただける方
- レポートをご近所に配っていただける方
- ポスターの掲示にご協力いただける方